

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書



プロジェクト概要

「市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の把握調査等業務」は、オンライン意見募集プラットフォーム『PoliPoli Gov（β版）』を用いて実施された。鎌倉市に居住する方をメインに市内外からの声を集めることを目的として、令和4年12月16日から令和5年2月28日まで自由記述式のアンケートを行った。

実施結果

今回の意見募集タイトルは「子育てについてあなたの困っていることを教えてください！」で、期間内に500件のコメントが寄せられた。うち、ユニークユーザー数（同じユーザーが同一アカウントで複数回アイデアを投稿したとしても「1」とカウントされるユーザー数のこと。以下、UU数）は、241名であった。また、任意調査項目として「あなたと鎌倉市の関わり」を尋ねる選択肢をもうけたところ、全体の9割近くのユーザーが、鎌倉市に居住・通勤・通学している（87.0%）ことがわかった。なお回答者の年代は、30代が最も多く全体の6割以上を占めた（62.6%）。次いで40代（21.8%）の回答が多く、20代、50代からの回答（6.3%）が同率で、また60代からの回答（1.3%）も寄せられていた。

図1 <回答者属性の内訳（あなたと鎌倉市の関わり, 年代）>

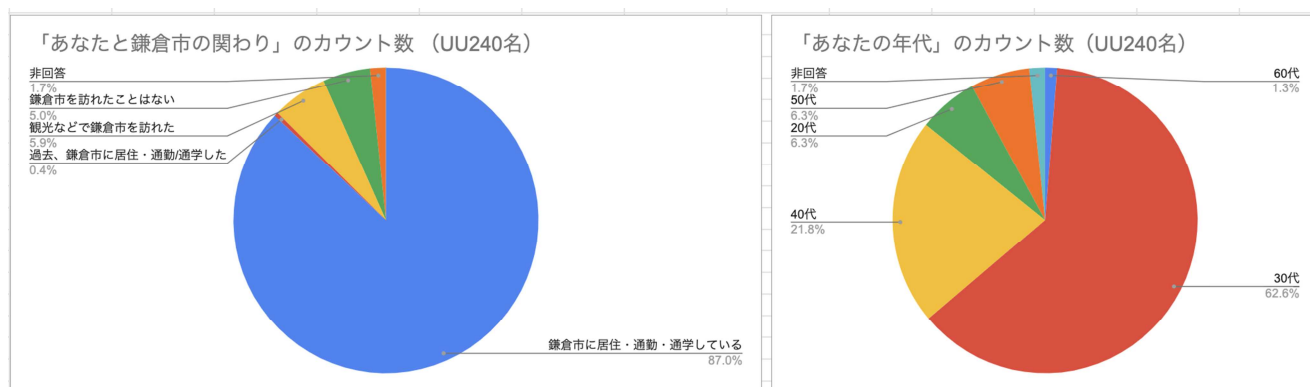
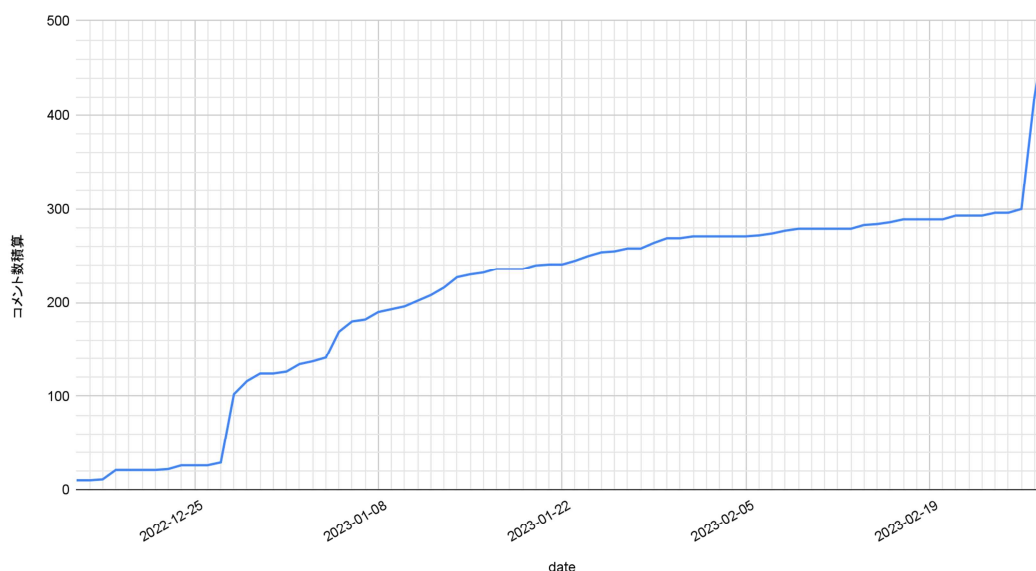


図2 <コメント数推移（日次）>

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書



コメント投稿数の推移（日次）



広報施策

12月下旬より、以下のような広報施策を行った。

- 鎌倉市役所
 - 鎌倉市LINE広報実施
 - 鎌倉市関連議員による、ツイート 等
- PoliPoli
 - 鎌倉市民等への声かけ

課題の性質ごとの集計

次に寄せられた意見を、課題の性質によって9つに分類する作業をExcel上で実施した（添付ファイル1）。図3では市民意見を課題の性質別に集約した結果を掲載している。それぞれのカテゴリにおける分類基準は図4から参照されたい。なお、一つの投稿の中に複数の分類要素が存在する場合は、コメントセルを複製した上でそれぞれに異なるカテゴリを付与した。また複製したコメントは青枠で括る処理を施した（図5）。

添付ファイル1 <[鎌倉市 子育て施策 コメントデータ最終版](#)>

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書



図3の結果から課題に関連するテーマで最も多かったのは「行政関連」（24%）であることがわかる。次いで、「保育関連」（20.4%）「交通・安全・公衆衛生」（15.9%）に関する課題、さらに「公園関連」（13.9%）の意見なども寄せられた。

図3 <課題の性質別 市民意見の内訳>

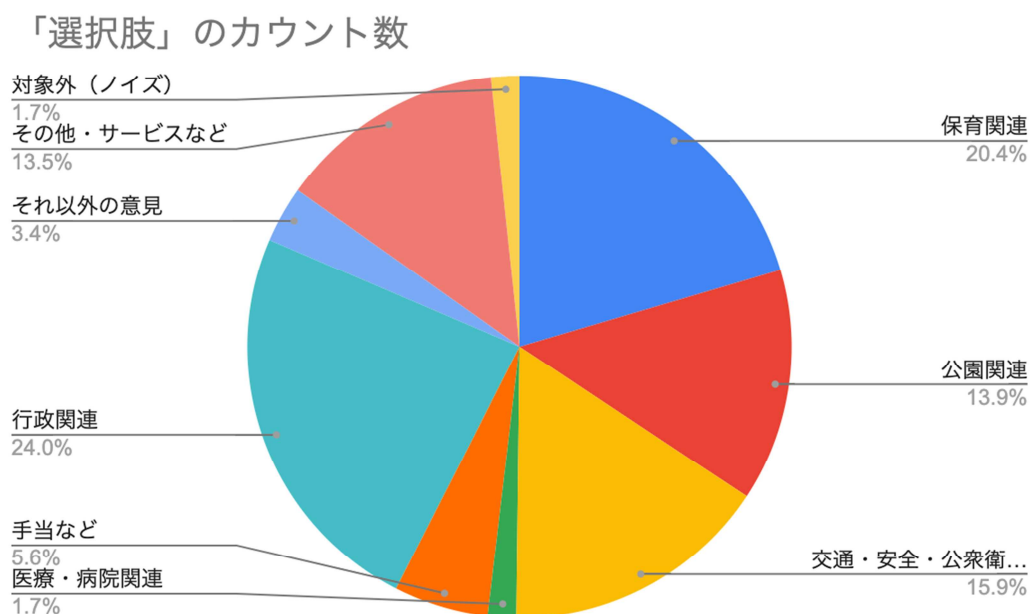


図4 <課題の性質別カテゴリ>

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書

選択肢	選択の基準（関連テーマの一例）
保育関連	・ 保育費用 ・ 保育園の受け入れ定数 ・ 一時預かりの拡大
公園関連	・ 公園遊具の整備、設置 ・ 公園の増設
交通・安全・公衆衛生など	・ 歩道の整備 ・ 街中の授乳室 ・ 公衆トイレ（衛生管理）
医療・病院関連	・ 医療費の助成 ・ 小児科の増設、土日の療育
手当など	・ 児童手当 ・ 手当受取の所得制限の撤廃
行政関連	・ 公共施設（図書館、予防接種、学校） ・ 学校教育、教育費用 ・ ファミリーサポート（ファミサポ）
それ以外の意見	・ 住民への意見募集に対する意見 > 取り組みの周知、広報強化 > 集めた意見に関する行政からのフィードバック ・ 子育てに関する大局的な意見
その他・サービスなど	・ 民間事業などの子育て関連サービス ・ こどもの遊び場に関連すること（公園を除く） ・ 子育てサロン
対象外（ノイズ）	・ 相談テーマへの関連性が薄いもの ・ 投稿済みコメントへの誤字訂正 ・ 別コメントへの返信（意見のないもの）

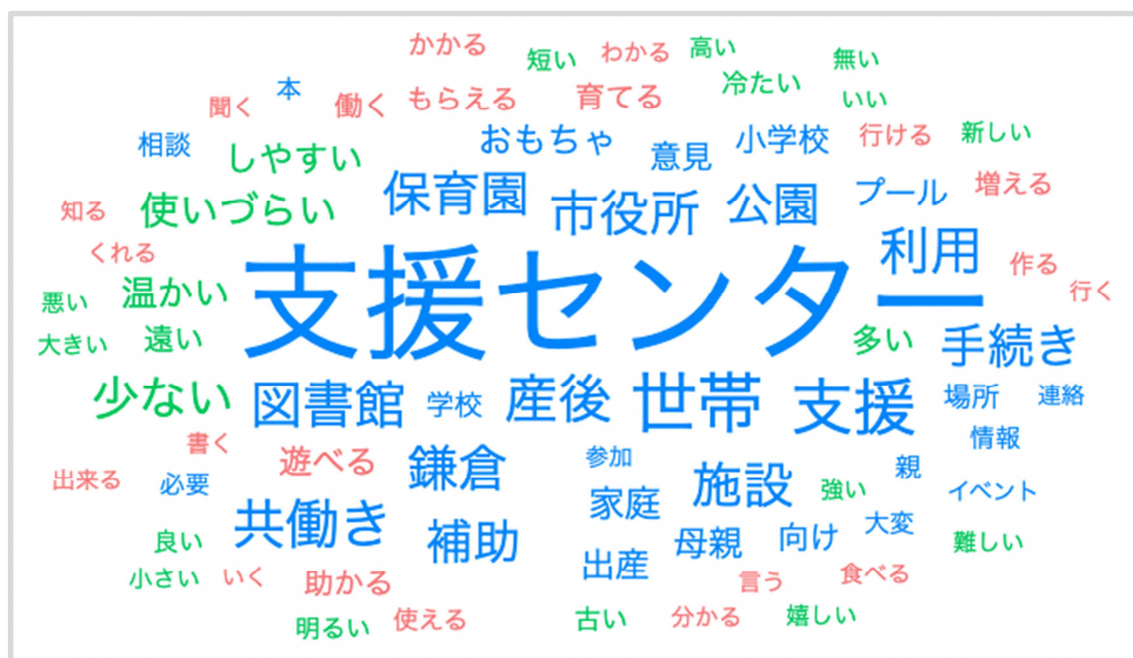
図5 <重複カテゴリの処理方法>

2023/02/28	街灯が少ないため、暗くなってから子供が多くのは危険だと思ふ。冬場は夕方早々に暗くなる為、遅くまで外にいても暗い道を歩かないといけない場合が多い。街灯を増やしていただきたい。	-	歩道への街灯設置	交通・安全・公衆衛生など	-
2023/02/28	保育園入園を希望していても、なかなか入園できない。待機点数を加点しても難しい状況。人口増に伴い、保育園新設をすぐに行うのは難しいかと思うので、せめて入園できなかった時の助成を手厚くしてほしい（例えば、ベビーシッターや一時預かり費用の補助）。現状、加点し保育園に受かる為、自費で一時預かり等を利用している人も多く、働いているのに、同じくらい、それ以上の金額をそこに使わないといけないのは貰った当ではないと思う。非課税世帯向けには補助があるが、そのような世帯は保育園に無条件で受かっていると思う。本当に必要な人たちに必要な補助などの対応を早急に取っていただきたい。	-	保育園の新設	保育関連	選択肢が複数
2023/02/28	保育園入園を希望していても、なかなか入園できない。待機点数を加点しても難しい状況。人口増に伴い、保育園新設をすぐに行うのは難しいかと思うので、せめて入園できなかった時の助成を手厚くしてほしい（例えば、ベビーシッターや一時預かり費用の補助）。現状、加点し保育園に受かる為、自費で一時預かり等を利用している人も多く、働いているのに、同じくらい、それ以上の金額をそこに使わないといけないのは貰った当ではないと思う。非課税世帯向けには補助があるが、そのような世帯は保育園に無条件で受かっていると思う。本当に必要な人たちに必要な補助などの対応を早急に取っていただきたい。	-	入園不可時の助成金優遇	手当など	選択肢が複数

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書

PoliPoli Gov

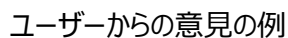
図7 <行政関連：アイデアキーワードの分布図>



ユーザーからの意見の例

- 子育て支援センターを利用しやすくしてほしい。親子で一緒に遊びに行きたいけど、土日祝日がほとんど開所されていない
- ファミサポへの登録が不便。市の健診がある日には各センターに出張で登録所を作って、相談と共に登録もできるようにしてほしい
- 子ども関連の申請書をPCやスマホから入力できるようにしてほしい。産後の頭と体で手書きをする（漢字が思い出せない）&ポストに出しに行くのが非常に辛かった

図8 <公園関連：アイデアキーワードの分布図>

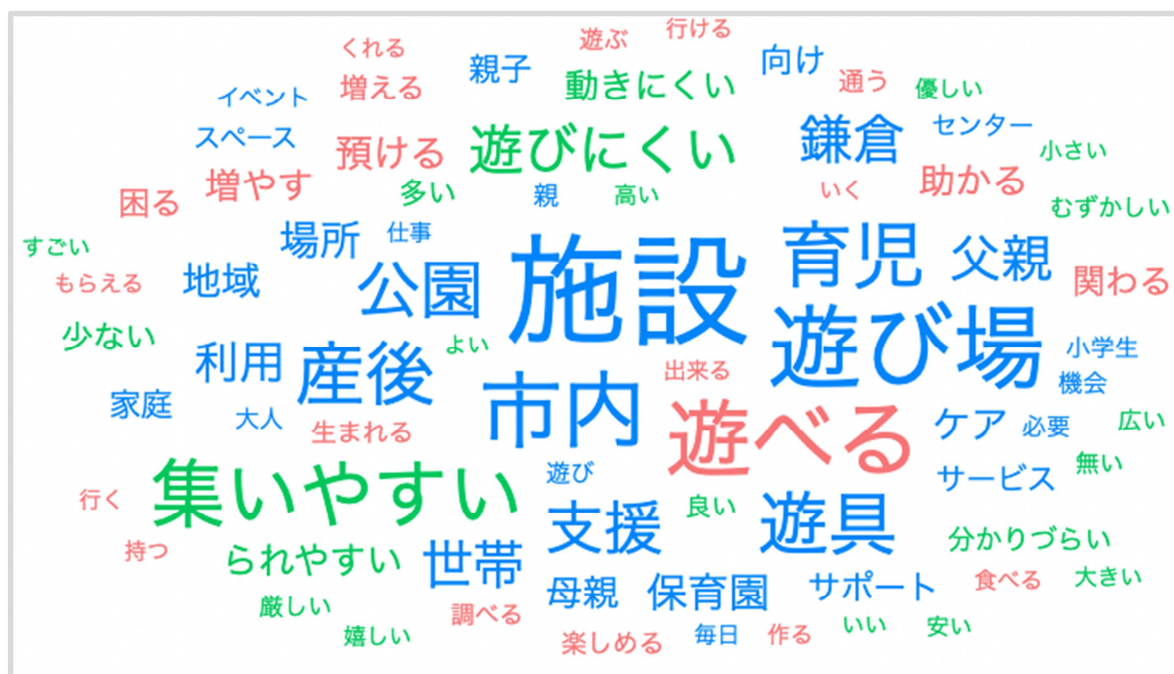


- 屋内遊具のある市営の遊び場が少ない。無料で使用ができる遊び場があると子供たちも天候関係なくストレス発散でき、親達の交流にもつながると思います
- 0歳と4歳の子を育てています。子供が遊べる場所が少なく、あっても遠かったり、駐車場が無かったりで利用しづらい。特に雨の日や寒い日は遊べる場所がないので、切実に増やしてほしい
- 歩き始めの乳児から安全に遊べるような公園がほしい

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書

PoliPoli Gov

図9 <その他・サービスなど：アイデアキーワードの分布図>



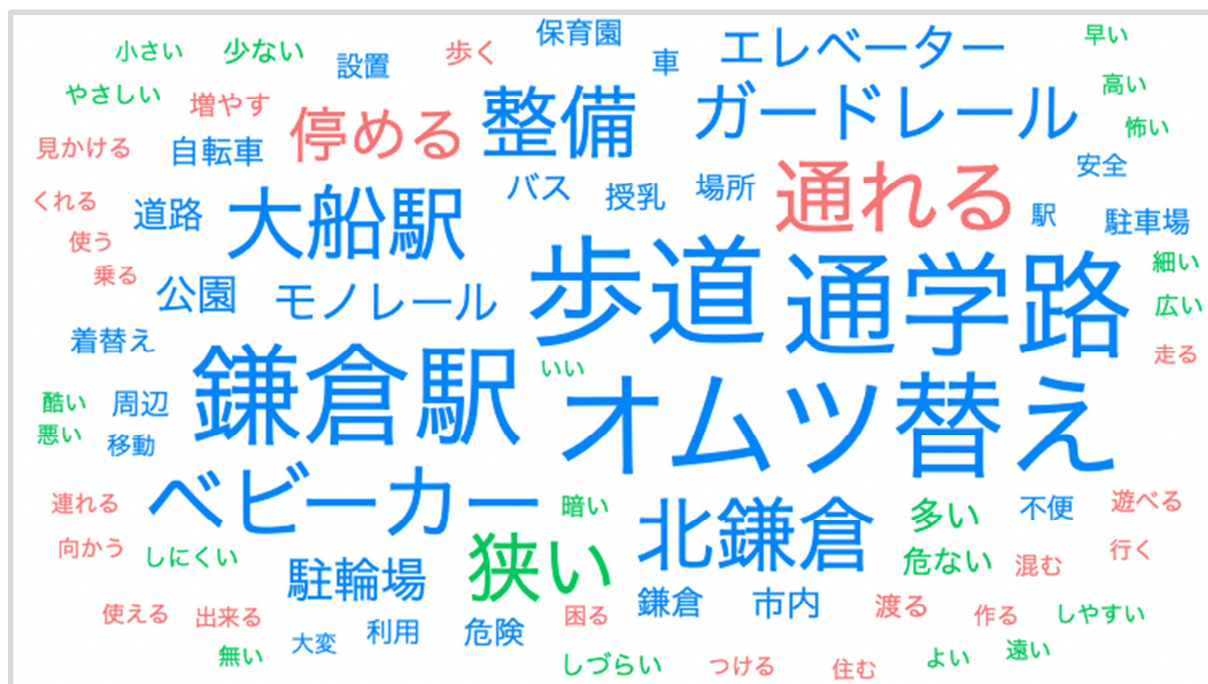
ユーザーからの意見の例

- 多くの父親はパートナーや家族とともに子育てをするために必要なサポートを受けていない。仕事と家庭生活の両立、ロールモデルの欠如、固定観念と期待、感情的な距離、経済的なプレッシャーなどに対する「父親向け」子育てのサポートをお願いします
- 初産の人へのサポートとして、育児の知識ではなくサービスの情報がほしい。産後は調べる気力もないし「きらきら」等の冊子を隅々まで見る時間もない。健診や訪問時に簡単でよいから紹介してほしい
- 「よなきごや」のように夜泣きで疲れている親が駆け込める場所がほしい

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書

PoliPoli Gov

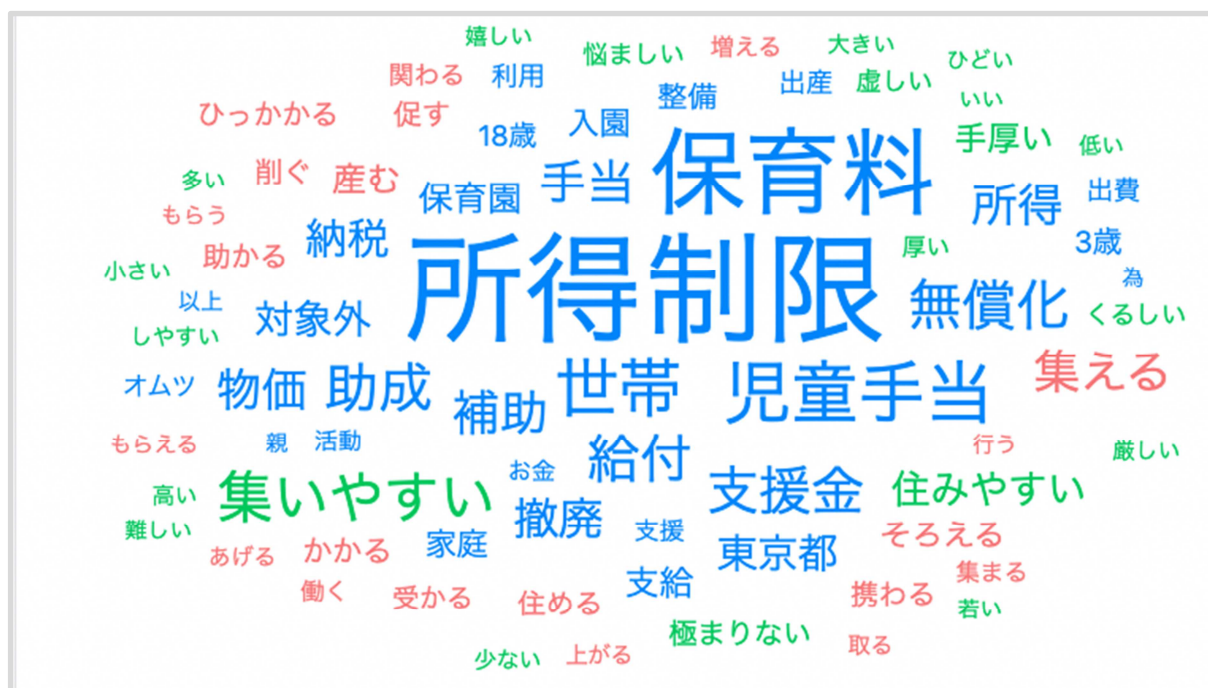
図 10 <交通・安全・公衆衛生など：アイデアキーワードの分布図>



ユーザーからの意見の例

- 鎌倉駅周辺で、土日可以使用できる授乳スペースがほぼない。おむつ替えや授乳を出来る場所を増やしていただけると助かります
- きらきらの市内マップに着替え台があるかどうかの表示をしてほしい。まだズボン履いたままトイレを使えない子どもは、いつも下を全部脱がす必要があります。オムツ交換台の下に着替え台を付けてほしい
- 歩道の整備。ガタガタしていたり車道に向かって傾いていたり、ベビーカーでは非常に通りづらいです。車がすれ違えない狭い道が多く、小学生の通学路としても危険だと思うところがたくさんある

図 11 <アイデアキーワードの分布図：手当など>



- 児童手当に所得制限をかけないでほしいです。共働きですが私の1ヶ月の給料の多くを保育料に当てる為、何の為に働きに出ているのかと思う事があります。他の方は私よりも低い保育料に児童手当をもらっているのはどう思いますか？
- 子育てでお金がかかる時期はミルク代やオムツ代がかかる0歳～2歳。晩産化が進んでいる上に保育料のことを考えると、3歳以上は保育無償化ですが、上の子が3歳になってからもう一人...には二の足を踏むと思います
- 男性育休に関して、男性が取得する際に会社へ与えてしまう損失が気になるそうです。男性社員が育休を取った企業に対しても補助金等を出すのはどうでしょうか

- 小児科を増やしてほしい。また調剤も便利なおところにないので可能なら増やしてほしい
- 病児保育園がもっと家の近くにあると助かる

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書



- 母乳育児相談所が少ない。産後 3 ヶ月で引っ越して来たときにケアをしてほしかったので必死に検索して結局訪問で助産師さんをよんだ。前に住んでいた地域では母乳育児相談所の一覧表をもらえた

それ以外の意見 ※該当コメントが少ないためテキストマイニング実施無し

ユーザーからの意見の例

- ひとり親家庭ですが、日々の生活に困っています。中学校、高校などの進学にもいろいろとお金がかかり食費や光熱費などいろいろやりくりしても大変
- 市はこのコメント欄をジャンルごとの統計ではなく、全てのコメントにしっかり目を通してほしい。みんなそれぞれ真剣に考えているので。
- HP の抜本的な改善をしてほしい。制度ごとに細分化されているけど使いにくく、必要な情報にアクセスしにくいと感じる

対象外（ノイズ）

ユーザーからの意見の例

- 困っていることを募集しているからだと思いますが、文句ばかりで鎌倉市での子育てに不安を感じてしまいます。もともと市のご出身であったり、移住してきて市に住み続けていたり、鎌倉市の子育ての良いところをご存知の方の声も聞きたいです。。。
- 今回の意見募集について、過去の意見が遡りにくい。途中経過でいいので、頻出単語の可視化ツールなどで見える化できないでしょうか...？（それで、自分の困りごとが全く意見があがってなかったら、意見しようという気になる人もいるかも）

市民ニーズ（鎌倉市の子育て施策）の 把握調査等業務に係る最終報告書

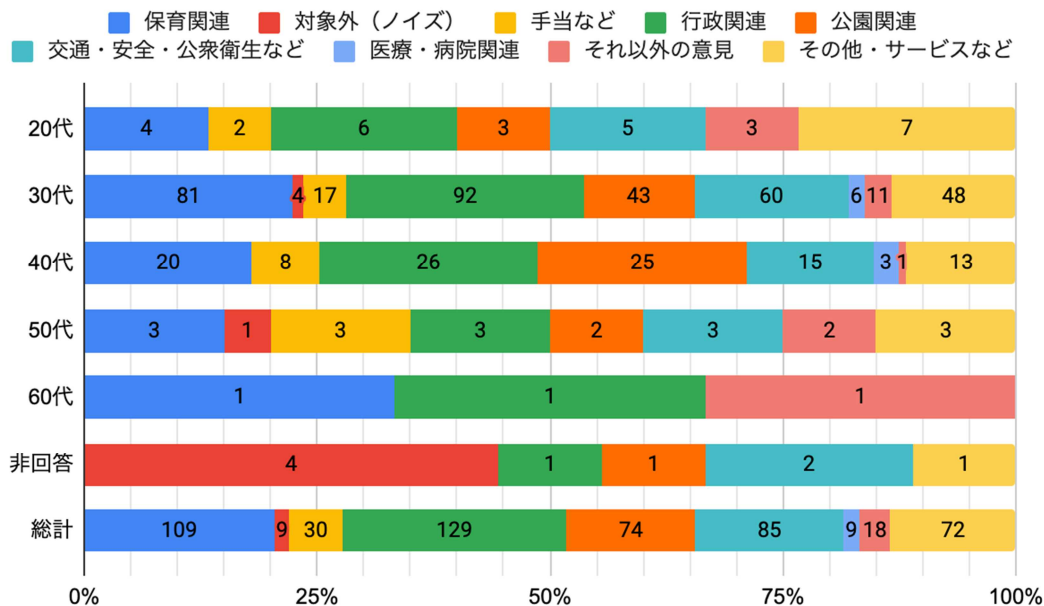


結果をもとにした分析考察

課題の性質を年代別にクロス集計したところ、図 12 の結果となった。コメント数の多かった 30 代と 40 代の内訳に着目すると、最も言及の多いカテゴリは両年代とも「行政関連」であるものの、次に関心の高いカテゴリについては、30 代が「保育関連」、40 代が「公園関連」と分かれている。2022 年の女性の平均出産年齢が 30.7 歳（※）であることから、30 代では、保育園入園（0 歳児、1 歳児保育）に関する課題や、ベビーカーを使つての移動に関する内容が寄せられる傾向にある一方で、40 代では、子どもが学校に上がるタイミングで発生すると考えられる学費に関する要望や、子どもの遊び場となる公園などへの課題の声が挙がりやすい傾向にあった。このことから世代ごとのニーズに合わせ、子育て政策のアップデートや、コミュニティ促進の打ち手を検討することが効果的であると見込まれる。

※厚生労働省、人口動態調査：[令和 3 年度「出生に関する統計」の概況](#)

図 12 <課題の性質別×年代（クロス集計） 市民意見の内訳>



以上